大網白里市都市計画マスタープラン
－ 概 要 版 －

第１章 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランは、都市計画法第 18 条の 2 に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」です。総合計画に位置付けられる施策のうち、都市政策の分野を受け持ち、本市の都市計画に関わる各種事業や計画の共通の指針となります。

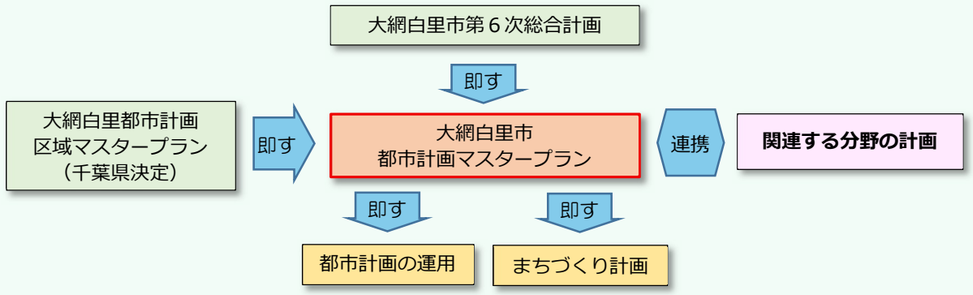
① 計画の役割

都市の将来像の明示	都市全体と各地域の将来像を分かりやすく示します。
都市計画の方針の明示	市が定める都市計画について、都市計画決定の方針や根拠を示します。
総合性・一体性の確保	関連分野と連携し、総合的かつ一体的な都市づくりを進めます。
協働のまちづくり	市民や事業者と課題や方針を共有し、協働のまちづくりを推進します。

② 計画の基本事項

計画期間	令和 8 年度～令和 27 年度
目標年度	令和 27（2045）年度
対象区域	市域全域

③ 計画の位置付け



第２章 現状と都市づくりの課題

① 人口の現状と将来推計

人口推移
令和 6 年 ：46,874 人 （実績）
令和 17 年 ：43,247 人 （推計）
令和 27 年 ：38,112 人 （推計）

② 市民意向（アンケート結果）

設 問	多かった回答
将来どんなまちにすべきか	➢災害に強いまち ➢福祉が充実したまち ➢交通の便がよいまち
土地利用	➢駅周辺への商業・業務機能の誘導、 ➢住宅地の整備や良好な住環境の維持推進、 ➢幹線道路沿道への商業・業務機能の誘導
道路・交通環境	➢生活道路の整備 ➢歩道や通学路の整備 ➢駅前広場の整備
防災	➢ライフラインの災害対策 ➢洪水浸水対策 ➢道路の整備

③ 都市づくりの主要課題

1．人口減少・少子高齢化への対応
2．都市拠点の活性化
3．道路・交通環境の向上
4．自然環境との共生
5．産業の活性化
6．安全・安心

第３章 都市づくりのビジョン

① 将来都市像

未 来 に 向 け て　み ん な で つ く ろ う ！
住 み た い ・ 住 み 続 け た い ま ち

本計画では総合計画と将来像を共有することで、都市づくりに関わる各分野との連携や整合性を図り、市全体として一貫性のあるまちづくりの推進を目指します。

② 都市づくりの目標

目標①　未来に向けた持続可能な都市の実現（市街地環境・都市基盤・交通・産業）
目標②　地域の特性を生かした魅力ある都市の形成（自然環境・歴史・文化・観光）
目標③　災害に強く、安全・安心に暮らせる都市の構築（防災・減災）
目標④　誰もが快適に暮らせる住みよい都市の実現（住環境・福祉・景観）

③ 将来人口

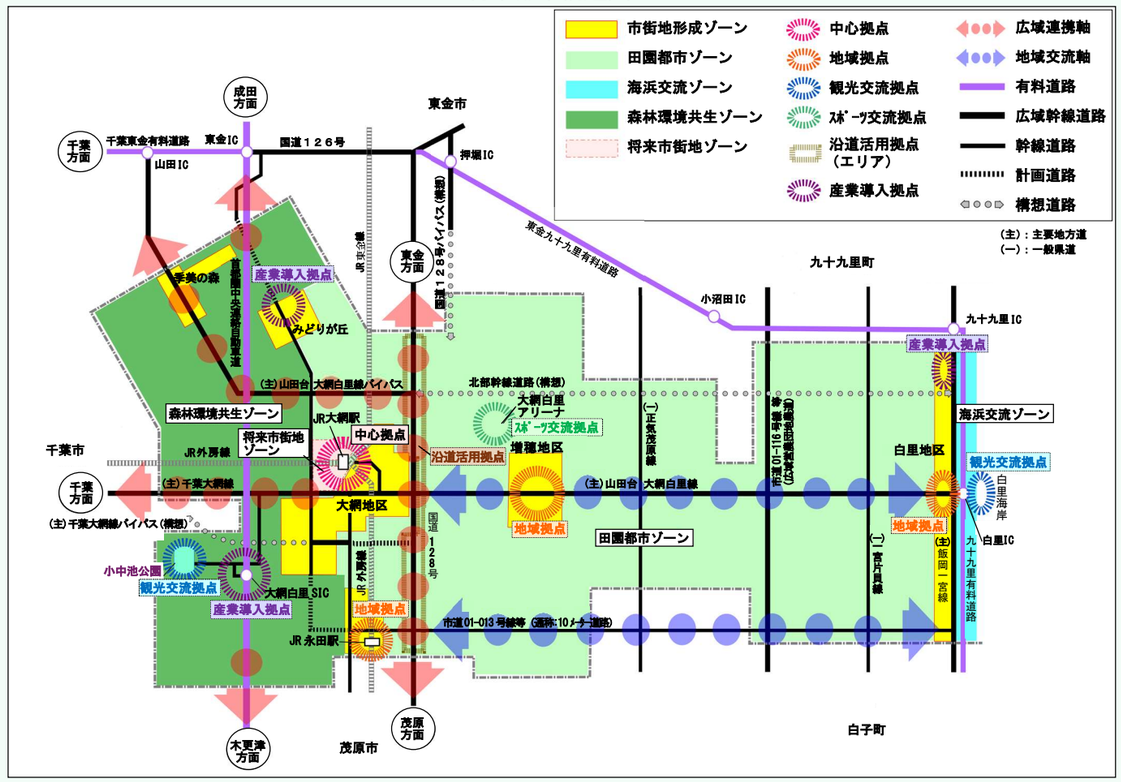
大網白里市人口ビジョンの将来人口の推計をもとに、次の人口を目指とします。

目標人口 ： 令和 17（2035）年 43,860 人 ／ 令和 27（2045）年 39,457 人

④ 将来都市構造

本市の将来都市構造を、地域特性に応じた「ゾーン」、重要な都市機能を担う「拠点」、それらを結ぶ「交流軸」で構成します。

«将来都市構造図»



第４章　都市づくりの方針（分野別方針）

① 都市づくりの目標の実現に向け、分野別の方針を示します。

分　野	方 針 の 要 旨
1．土 地 利 用	中心拠点と地域拠点の連携を基本に、居住・産業・自然環境が調和する土地利用を進めます。
2．道路・交通	広域・地域間の道路ネットワークを強化し、公共交通の充実を図ります。
3．都 市 施 設	河川・排水、下水道、公園・緑地、公共・公益施設の整備と適切な維持管理を進めます。
4．自 然 環 境	丘陵地、田園、海岸の豊かな自然環境を保全し、自然との共生を図ります。
5．都 市 環 境	緑化と良好な景観形成を進め、歴史・文化資源をまちづくりに生かします。
6．都 市 防 災	自然災害への対策を進め、都市機能と地域防災力を強化します。

第５章　地域づくりの方針（地域別方針）

① 大網地域

●大網地域の将来像

駅を中心に、人が集まり、便利で安心して暮らせるまち　おおあみ

●まちづくりの目標

大網駅周辺を中心に都市機能と交通結節機能を高め、利便性、にぎわい、安全性が両立する都市活動の核を形成します。また、広域交通網を生かした産業・交流機能の導入により、雇用創出と地域活性化につなげるとともに、都市型水害や土砂災害に強い地域づくりを進めます。

●大網地域の主なまちづくり方針

方針項目	主　な　内　容
中心拠点の形成	大網駅周辺への商業・業務機能等の集積と交通結節機能の強化
計画的な土地利用	大網駅南地区、国道 128 号沿道、圏央道大網白里 SIC 周辺等の特性を生かした土地利用
交通・生活基盤の充実	広域道路、公共交通、河川・排水、下水道等の機能強化
自然環境と景観の保全	丘陵地、里山、谷津田、水辺等の自然環境と景観の保全
防災・減災	浸水、土砂災害、地震、火災等への備えの強化

② 増穂地域

●増穂地域の将来像

豊かな自然の中で、スポーツを楽しみ、人と人がつながるまち ますほ

●まちづくりの目標

田園環境と調和した住環境を守り、生活利便性と公共交通を確保することで、多世代が安心して住み続けられる地域を形成します。また、スポーツ施設の集積を生かし、健康づくりや交流を通じて地域のにぎわいと活力を創出します。

●増穂地域の主なまちづくり方針

方針項目	主　な　内　容
地域拠点の形成	増穂地区市街地の良好な住環境と日常生活を支える機能の充実
スポーツ交流の促進	大網白里アリーナ等を生かした健康づくりと交流機会の創出
道路・公共交通の充実	地域間を結ぶ道路・公共交通と、自転車・歩行者環境の充実
田園環境と景観の保全	農地、平地林、屋敷林、河川等が形成する田園環境と景観の保全
防災機能の強化	浸水や津波の河川遡上等への備えと、公共施設の防災機能の確保

③ 白里地域

●白里地域の将来像

海の魅力を生かし、人が訪れ、楽しみとにぎわいが広がるまち　しらさと

●まちづくりの目標

海浜資源を生かして観光・交流の魅力を高め、地域経済とにぎわいを創出します。また、津波災害に強い安全・安心な地域を形成するとともに、砂浜や松林等の自然環境の保全と利用の調和を図ります。

●白里地域の主なまちづくり方針

方針項目	主　な　内　容
観光・交流拠点の形成	白里地区臨海部における通年型の観光・交流機能の充実
地域拠点・産業拠点の形成	生活利便機能の確保と、ヨウ素や天然ガス等の地域資源を生かした産業の誘導
交通・避難動線の確保	幹線道路と公共交通の機能確保、沿岸部から内陸への避難経路の整備
海岸・田園環境の保全	砂浜、松林、海浜植物、野生動物及び田園環境の保全
津波災害対策	避難施設、避難路、誘導標識等の整備と、住民・観光来訪者への避難誘導

第６章　計画の推進方策

① 計画推進の考え方

まちづくりの実現には、行政のみならず、市民、団体、事業者、関係機関などの多様な主体がそれぞれの役割を担い、相互に連携して取り組むことが重要です。

このため、計画の推進にあたっては、将来像や目標を共有し、連携・協力しながら、協働のまちづくりを進めます。

（１）市民参画による事業推進

分かりやすい情報発信に努め、計画策定や継続的なまちづくり活動への市民参画を促進します。

（２）民間活力を生かした事業推進

PPP・PFI を活用し、公共サービスや公共施設の整備・運営に民間の知識や技術を生かします。

（３）行政の役割と関係機関との連携

国・県・関係機関と連携し、各種支援制度を活用しながら、必要性や緊急性を踏まえて事業を推進します。

② 計画見直しの考え方

本計画は、令和 27 年（2045 年）を目標年次とする長期的な計画であることから、計画期間中の社会経済情勢の変化や、関係法制度・上位計画の改定、技術革新等により、計画を取り巻く状況に大きな変化が生じた場合には、状況に応じて見直しを行います。

大網白里市都市計画マスタープラン【概要版】

令和８年１０月

大網白里市 都市整備課

〒299-3292　千葉県大網白里市大網 115-2

TEL：0475-70-0364

URL：https://www.city.oamishirasato.lg.jp/